



京都大学医学部附属病院 腎臓内科 臨床研究に関する情報の公開

作成日: 2022/11/19

1. 研究課題名	慢性腎臓病教育プログラムの腎予後に及ぼす影響の検討
2. 倫理審査と許可	京都大学大学院医学研究科・医学部及び医学部附属病院 医の倫理委員会の審査を受け、研究機関の長の許可を受けて実施しています。
3. 研究機関の名称・研究責任者の氏名	京都大学大学院医学研究科 腎臓内科・金子恵一
4. 研究の目的・意義	慢性腎臓病（CKD）は進行すると末期腎不全を来し、腎代替療法を要することとなります。本邦では透析患者数が年々増加し、2019年には34万人を超えるに至りました。またCKDは脳血管疾患や心血管疾患の危険因子となることが知られています。CKDの進行を遅らせるためには、薬物療法とともに食事療法などの自己管理が重要です。そのため多種職による患者教育が推奨されており、京都大学医学部附属病院腎臓内科ではこれまでCKD教育入院を実施してまいりました。今回腎臓病教育入院が腎予後に及ぼす影響（特に教育入院による腎機能低下の抑制効果や透析導入延長効果）を明らかにすることを目的としております。
5. 研究実施期間	研究機関の長の実施許可日から～5年間
6. 対象となる試料・情報の取得期間	対象は、CKDにて2010年1月1日から2022年10月31日の間に、京都大学医学部附属病院腎臓内科で慢性腎臓病教育入院を実施された患者様。比較対象として、同時期の当科外来に通院するCKD患者で教育入院を受けておられない方、あるいは同時期に教育入院以外で入院になったCKD患者様としております。
7. 試料・情報の利用目的・利用方法	今回腎臓病教育入院が腎予後に及ぼす影響（特に教育入院による腎機能低下の抑制効果や透析導入延長効果）を明らかにすることを目的として、電子カルテから情報を抽出いたします。
8. 利用または提供する試料・情報の項目	患者様の年齢や性別、入院日、退院日、生年月日、教育入院前後のeGFRの変化率、透析導入率、Crの倍加、塩分や蛋白摂取量、体重、血圧、蛋白尿透析導入になった患者様については透析導入日等の項目を利用いたします。
9. 当該研究を実施する全ての共同研究機関の名称および研究責任者の職名・氏名	京都大学医学部附属病院 腎臓内科 研究責任者 助教 金子恵一
10. 試料・情報の管理について責任を有す	京都大学医学部附属病院 腎臓内科 杉岡清香



る者の氏名または名称	
11. 研究対象者またはその代理人の求めに応じて、研究対象者が識別される試料・情報の利用または他の研究機関への提供を停止すること及びその方法	ご自身の試料・情報を研究に利用されたくない方は、連絡先までその旨お知らせ頂ければ、解析対象から削除いたします。
12. 他の研究対象者等の個人情報および知的財産の保護等に支障がない範囲内での研究に関する資料の入手・閲覧する方法	この研究は、京都大学医学部附属病院腎臓内科が研究を推進します。この研究によって成果が得られた場合は、国内外の学術集会・学術雑誌などで公表します。その際にも、ご提供いただいた方の個人情報が明らかになることはありません。
13. 研究資金・利益相反	1) 研究資金の種類および提供者 本研究は、運営費交付金を用いて実施します。 2) 提供者と研究者との関係 資金提供者の研究の企画や運営、解析、論文執筆への関与はありません。 3) 利益相反 利益相反について、京都大学利益相反ポリシー、京都大学利益相反マネジメント規程に従い、京都大学臨床研究利益相反審査委員会において適切に審査しています。
14. 研究対象者およびその関係者からの求めや相談等への対応方法	1) 研究課題ごとの相談窓口 京都大学医学部附属病院 腎臓内科 金子恵一 (TEL) 075-751-4285 2) 京都大学の相談等窓口 京都大学医学部附属病院 臨床研究相談窓口 (Tel) 075-751-4748 (E-mail) ctsodan@kuhp.kyoto-u.ac.jp